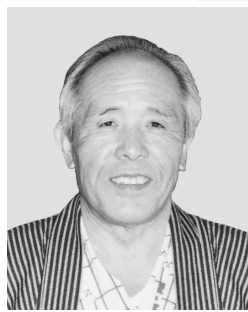


第二十九次
ブロック会に参加して
高水 宏

岩本町のビル4Fのエレベーターのドアが開き、クリニックの扉を押して待合室に入ると、落ち着いた「癒しの気」が静かに漂っている。

さて、今日の診察の所見はどうなるのか。先生に「まあ、いいでしょう」と言われると気分が爽快になり、ストレスが消える。「先生の貴重な一言が薬より効果がある」と思うのは私だけではないだろう。

梅雨が明け、盛夏の到来です。毎年恒例の7月のブロック会に参加した。出席者が8名でしたが、中味の濃い大変充実した勉強会になりました。時間のゆとりもあって、先生との一対一の質疑があり、普段診察室では聞けない最先端の医学情報や、日常生活の身近な病気の問題などに、先生のわかり易い応答があつて、深い感動を受けた。

今後のブロック会には、もっと多くの会員の皆さんが出席し、日頃感じている心配事や家族などの病気に関する、わからない事を質問し、存在感ある有意義なブロック会に成長させることが鈴森会発展の要素ではないかと痛感した。

高血糖の大敵は巷に溢れる甘味の強い食品の洪水ではないだろうか。しかし、この世の中で旨い物と言えば、おおよそ洋菓子や饅頭類の甘い物である。「岡山の白桃」「虎屋の羊羹」「完熟マンゴ」などは唾液が出るが、遠くで眺めているだけである。血糖で苦労しているが、最近是有名ベーカーが焼いたパンを楽しんでいる。食品表は余り眼を通していないが、腹八分目と朝のウォーキングで間食なしの生活が定着している。

ブロック会の帰りに、立川駅ビルの書店で「健康問答・五木寛之、帯津良一」を買って読んだ感想を述べてみたい。

帯津氏は全人間的（ホリスティック）な考えの方で、人間の心と体を一体と、とらえている。その読後感の一部を引用し会員の皆様の参考に供したい。

いわく、「健康というのは数字で表せない、もつと中にもつたもの、目に見えない「命の湯」のエネルギーのよいうな処にあるものだと思うんですよ。」

以前からそう思っているんです。神社仏閣の多くは、太古から、静かな強いエネルギーの噴き出す癒しの場だったわけですね。

また、「この間、中医学の漢方の先生が書いていたけど、「自分達漢方医は、患者がドアを開けて入ってくる時から、顔色や歩き方や、挨拶の仕方や声色やというる眺めて、それで、だいたいう診察が終わる」と。とのべ、西洋医学と東洋医学の統合が必要であることは論をまたない。

さらに、「私も今、エビデンス、つまり科学的な根拠と、直観を統合しなければいけないと、いつもいつているんです。やっぱり両方を使わないといけない。」つぎに、五木寛之は次のように話している。「人は生老病死の苦しみを背負って、泣きながら産まれてきて、泣きながら死んでゆくものだ。」と教えられてきた。でも主治医の先生が「人間はいずれ死ぬ、君も私も。この世はつかの間の旅みたいなもの、それぞれが一人ひとりの重荷を背負って生きていくんだよ。」という考え方を持っていると、すごく気が楽になる。」と結論づけている。以上「健康問答」の中から拾い出した言葉です。

本来、東洋医学は局所の所見、データにもとづいて治療するもので、本質的に目的は同じであり、従って、統合させることが大切であることは論をまたない。

信頼を寄せる主治医の先生をいただいた事は、いま痛切に感じる次第です。

鈴森会の益々のご発展を祈念致します。

第四十回秋の懇親旅行兼糖尿教室
野沢 秀二



～平成十九年二十日、二十一日伊東温泉「海風亭えびな」にて～

昨夜来の雨も、二十日朝にはうそのように晴れあがり、会員の皆様も、笑顔で待合室にて受付をすまされた。十時には岩本町ビル前を出発、今年海の伊豆半島の東海岸伊豆半島で行う事とした。今回も重本先生をはじめ安藤、杉山両先生に同行していただき、会員が楽しみにしていた鈴森会の大きな行事が行われました。

重本先生、石川会長よりご挨拶があり、岩本町から首都高速に入り東名高速の海老名パーキングで休憩をとり、午前十一時すぎには順調にすすみ、沼津をめざし、途中大井松田付近では正面に見えるはずの富士山は雲に覆われその姿は、見えないのが残念であった。御殿場方面になると、突然富士山が姿を現しその美しさは大変感激ものでした。沼津インターをおりると、丁度十二時となり、昼食をとり十二時四十分には出発し、三島から国道一三六号に入り、伊豆中央道を通り、狩野川に沿って、修善寺

つくっているのは、希望です。

Daiichi-Sankyo
第一三共株式会社
www.daichisankyo.co.jp

家族の気持ちで薬づくりを考える。

薬は飲まないに越したことはありません。でもどうしても必要な時があります。早く元氣になりたい、なって欲しい。切実な願いが、手のひらにの小さなものに託されます。私たち大日本住友製薬は病氣とたたかうすべての人々のために、自分の大切な家族に対するのと同じように、思いと力の限りを尽くして薬づくりに取り組んでいます。

www.ds-pharma.co.jp

大日本住友製薬

病気と闘う人たちの光となるために。

人間の遺伝子情報と病気のメカニズムの解明によるゲノム創薬。最先端の技術と揺るぎない情熱。アステラス製薬は、可能な限りのスピードで新薬の開発に取り組んでいきます。

日本発、医療用医薬品の世界企業へ

astellas
Leading Light for Life
アステラス製薬
www.astellas.com/jp/

高親和性AT1レセプターブロッカー

薬価基準収載

5mg
10mg
20mg

オルメテック錠

指定医薬品 処方せん医薬品・注意—医師等の処方せんにより使用すること—
一般名／オルメサルタン メドキシミル

※効能・効果、用法・用量および禁忌を含む使用上の注意等については製品添付文書をご参照ください。

製造販売元（資料請求先）
第一三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1

プロモーション提携
株式会社 三和化学研究所
〒461-8631 名古屋市中区東外堀町35番地

三共株式会社と第一製薬株式会社は2007年4月1日より第一三共株式会社として新たにスタートしました。

07.4